



自然科学研究 I (第 1 学年理数科)

「地学実習」(10月8日)

金沢大学理工学域地球社会基盤学系のロバート・ジェンキンス先生の指導のもと、能登町の九十九湾で、「地学実習」を行いました。例年は金沢市大桑町犀川河床にある大桑層(おんまそう)で行っていますが、今年は九十九湾(石川県能登町)の海底調査を行いました。

地震・津波の被害を受け、海底には砂や泥が堆積していました。海底は、通常なら生物によって均一に混ぜられているはずなのに、採集したサンプルは砂の層と泥の層がくっきりと分かれています。地震動・津波により崩落した砂・泥の様子、生物への影響を目の当たりにした地学実習になりました。



高校生ポスターセッション

9月21日(土)に石川県文教会館で行われた、日本地球化学会・金沢大学環日本海域環境研究センターの共催で実施された「高校生ポスター発表」に参加しました。この発表会には、県下の4校(七尾高校、金沢二水高校、小松高校、星稜高校)が参加し、ポスターでそれぞれの研究を発表しました。本校からは『環境 DNA による石川県能登地域の河川の魚類相調査』のグループ(26H 浅田さん・金沢さん・24H 田中さん)、『はたらく海藻!』のグループ(15H 坂口さん・谷口さん・干場智さん・山崎さん)が参加しました。2年生のグループが**最優秀ポスター賞**、1年生のグループが**環日センター特別賞**を受賞しました。



国立科学博物館巡回展 里山里海イベント

七尾市国分町の、のと里山里海ミュージアムで10月12日(土)~11月10日(日)の間、「国立科学博物館巡回展」が開催されています。開催初日のオープニングイベントでは、本校生徒による研究発表および本校生徒と国立科学博物館の海のどうぶつ研究者とのディスカッションが行われました。参加した15Hの生徒の多くは、初めての外部の発表でしたが、質疑応答になれない中、自分の言葉で一生涯懸命説明する姿が見られました。2年生は、積極的に質問を行っており、研究者の方からもその姿勢が評価されていました。

